



肺炎球菌と小児用肺炎球菌ワクチン

□ 肺炎球菌ってなに？感染するとどうなるの？

肺炎球菌は文字どおり、肺炎の原因になる細菌です。でもそれだけではありません。細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、中耳炎といった病気をおこします。

肺炎球菌というのはじつはそこら中にいる菌で、子どもの多くが鼻の奥や気道に保菌しています。

保菌しているだけでは問題ありませんが、残念ながら**小さな子どもは肺炎球菌に対する抵抗力をもっていない**ので、比較的簡単に肺炎球菌に感染してしまいます。

□ 小児用肺炎球菌ワクチンってどんなもの？

細菌性髄膜炎など、肺炎球菌による重い感染症を予防する、子供用のワクチンです。摂取する時期は**生後2ヶ月以上から9歳以下**まで摂取できます。

肺炎球菌による髄膜炎は約半数が0歳代でかかり、それ以降は年齢と共に少なくなります。5歳くらいまでは危険年齢です(5歳を過ぎての発症もあります)。2ヶ月になったらなるべく早く摂取しましょう。

□ 副反応と安全性

ワクチンを接種した後に、発熱や摂取部分の腫れなどの副反応が起こる頻度は、ほかのワクチンと同じ程度です。

10年前に発売されて以来、世界中の子どもたちに摂取されています。

ワクチン接種については、原則予約制となります。

小児用肺炎球菌ワクチンについて、ご質問、ご要望がある方は当院にご連絡(下記の連絡先)ください。

ワクチン接種は一回 8500 円です。

- ・住所：東京都目黒区八雲 2-8-11
- ・電話：03-5726-1133
- ・fax：03-5726-1136

